

OISDE ラオス事業報告 第三回

こんにちは。**OISDE** ラオス事務所長の持田です。事業報告の第三弾となります。

第二回報告の通り、工事現場における安全対策を講じたので、改装工事に着手しました。改装の対象となる建物は倉庫として利用されていたので、まず資器材等をすべて搬出し、改装工事の手始めは、1階・2階の床タイルを交換するために旧タイルを剥がし、また講義部屋の拡張のため既存の壁を壊します。建設関連の仕事が初めての私としては、壁があまりにも簡単に崩されていくのに驚きます。

ラオスは地震が無い国と言われていいますので、日本人建築家の方曰く、日本の耐震構造のようなしっかりとした構造にはなっていないとのこと。私どもの改装工事では使用しませんが、他の建設現場を見ると、コンクリートで作った2階の床を、下から何本もの竹を立ててコンクリが乾くまで支えています。大丈夫かな？と思うことはあります。少し前になりますが、観光客がよく歩くメインロードに面して建っていた建物が突然崩れ、通行人の外国人が下敷きになり大怪我をしたことがありました。もちろん、滅多にないことですが。



搬出した荷物の整理



2階廊下のタイル剥がし